沖縄国際大学講演（1/28）
開催概要

Copyright© 2026 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin,INC All rights reserved.

開催概要

日程・会場

- 2026年1月28日（水）10:40 ～ 12:00
- 沖縄国際大学 産業情報学部企業システム学科

目的

- 次世代の農林水産物・食品の輸出担い手の育成・確保を目的に、学生向けに輸出の販売状況や仕事の内容を講義

構成

- 挨拶　農林水産物・食品の輸出促進について
- 農林水産物・食品の輸出～世界で活躍する沖縄産品～（GFP沖縄事務局 株式会社Aglin 吉満）
  - ➢ 海外輸出が国策？
  - ➢ 海外で日本食はどう食べられている？
    - ✧ 沖縄県産品の輸出事例
  - ➢ 日本食はどのような人が関わり、海外に運ばれている？
    - ✧ 日本食の輸出に関わる人・仕事
    - ✧ 輸出までの流れ
  - ➢ 学生視点で日本の食に貢献できること
    - ✧ ベンチャーで活躍している学生
    - ✧ 食×他産業のコラボレーション

対象者

- 産業情報学部企業システム学科 学生（約100名）

Copyright© 2026 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin,INC All rights reserved.

授業の様子











Copyright© 2026 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin,INC All rights reserved.

授業後アンケート結果（担当教授より） ～学生ミニレポートから見えた主な反応の傾向

学生の反応に見られた主な傾向

①輸出を「制度」ではなく「現場の営み」として捉え直した点

- 多くの学生が、輸出を「書類や仕組み中心の取引」ではなく、**人の判断・調整・工夫の積み重ねによって成立している活動**として捉え直したことを記していました。特に、実際の現場写真や具体的な事例紹介が、輸出を身近なものとして理解する助けになったようです。

②小規模事業者の立場への気づき

- 沖縄県産品の輸出事例を通じて、
  - 小規模事業者が直面する制約
  - 継続的な輸出の難しさ
  - 海外市場との距離感

といった点に言及する記述が多く見られました。

「輸出＝大企業の話」という固定的なイメージが揺らいだことが、学生にとって印象的だったようです。

③将来との接続を意識する記述

- 一部の学生からは、「自分には関係のない分野だと思っていたが、将来関わる可能性があるかもしれない」という形で、進路や仕事との接続を意識したコメントも見られました。沖縄という地域性と輸出を結びつけて考える視点が自然に生まれていた点は、印象的でした。

教員側の所感（補足）

今回の出張講義は、理論中心の講義内容を補完し、貿易を現実の活動として理解するための良い接点になったと感じています。
外部の現場視点を取り入れたうえで、その後に整理・振り返りの時間を設けることで、学生の理解がより深まったように思われます。

Copyright© 2026 PRODUCTS PLANNING,INC. Aglin,INC All rights reserved.